【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【公開番号】特開2017-42937(P2017-42937A)
【公開日】平成29年3月2日(2017.3.2)
【年通号数】公開・登録公報2017-009
【出願番号】特願2015-164998(P2015-164998)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　21/31　(2013.01)
Ｂ４１Ｊ　29/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　1/00　１０７Ｚ
Ｇ０６Ｆ　21/31
Ｂ４１Ｊ　29/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年8月7日(2018.8.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像形成装置と情報処理装置とを有し、
前記画像形成装置は、
ユーザを認証する認証手段と、
前記認証手段により認証されたユーザに対して、記録媒体に一又は複数の第１画像を形成するサービスを提供する提供手段と、
前記ユーザに対して提供された前記サービスの履歴を示す情報を前記情報処理装置に送信する送信手段と、
前記第１画像から生成されたサムネイルと前記履歴を識別する識別子とを含む第２画像を出力する出力手段と、前記第１画像が形成された記録媒体とは異なる記録媒体に形成する形成手段と
を有し、
前記情報処理装置は、
前記画像形成装置により送信された前記情報を記憶する記憶手段
を有する通信システム。
【請求項２】
前記画像形成装置は、
前記第２画像を前記第１画像が形成された記録媒体とは異なる記録媒体に形成する形成手段をさらに有する
ことを特徴とする請求項１に記載の通信システム。
【請求項３】
前記画像形成装置は、
前記第２画像を生成する生成手段であって、前記サービスにおいて記録媒体に形成さ

れた前記第１画像の数が予め定められた第１閾値を上回る場合、前記サムネイルの少なくとも一部が重ねて表示された前記第２画像を生成する生成手段を有し、
　前記形成手段は、前記生成手段により生成された前記第２画像を一枚の記録媒体に形成する
　ことを特徴とする請求項２に記載の通信システム。
【請求項４】
　前記生成手段は、前記第１画像の数が前記第１閾値よりも大きい第２閾値を上回る場合、前記サムネイルの一部が間引かれた前記第２画像を生成する
　ことを特徴とする請求項３に記載の通信システム。
【請求項５】
　前記生成手段は、前記第１画像の数が前記第１閾値以下である場合、前記サムネイルの全てが重ならずに表示された前記第２画像を生成する
　ことを特徴とする請求項３又は４に記載の通信システム。
【請求項６】
　ユーザを認証する認証手段と、
　前記認証手段により認証されたユーザに対して、記録媒体に一又は複数の第１画像を形成するサービスを提供する提供手段と、
　前記ユーザに対して提供された前記サービスの履歴を示す情報を外部装置に送信する送信手段と、
　前記第１画像から生成されたサムネイルと前記履歴を識別する識別子とを含む第２画像を、前記第１画像が形成された記録媒体とは異なる記録媒体に形成する形成手段と
　を有する画像形成装置。
【請求項７】
　画像形成部を有するコンピュータに、
　ユーザを認証するステップと、
　認証されたユーザに対して、記録媒体に一又は複数の第１画像を形成するサービスを前記画像形成部が提供するステップと、
　前記ユーザに対して提供された前記サービスの履歴を示す情報を外部装置に送信するステップと、
　前記第１画像から生成されたサムネイルと前記履歴を識別する識別子とを含む第２画像を出力するステップと
　を実行させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
　請求項１に係る通信システムは、画像形成装置と情報処理装置とを有し、前記画像形成装置は、ユーザを認証する認証手段と、前記認証手段により認証されたユーザに対して、記録媒体に一又は複数の第１画像を形成するサービスを提供する提供手段と、前記ユーザに対して提供された前記サービスの履歴を示す情報を前記情報処理装置に送信する送信手段と、前記第１画像から生成されたサムネイルと前記履歴を識別する識別子とを含む第２画像を出力する出力手段と、前記第１画像が形成された記録媒体とは異なる記録媒体に形成する形成手段とを有し、前記情報処理装置は、前記画像形成装置により送信された前記情報を記憶する記憶手段を有する。
　請求項２に係る通信システムは、請求項１に記載の構成において、前記画像形成装置は、前記第２画像を前記第１画像が形成された記録媒体とは異なる記録媒体に形成する形成手段をさらに有することを特徴とする。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
請求項３に係る通信システムは、請求項２に記載の構成において、前記画像形成装置は、前記第２画像を生成する生成手段であって、前記サービスにおいて記録媒体に形成された前記第１画像の数が予め定められた第１閾値を上回る場合、前記サムネイルの少なくとも一部が重ねて表示された前記第２画像を生成する生成手段を有し、前記形成手段は、前記生成手段により生成された前記第２画像を一枚の記録媒体に形成することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項４に記載の通信システムは、請求項３に記載の構成において、前記第１画像の数が前記第１閾値よりも大きい第２閾値を上回る場合、前記サムネイルの一部が間引かれた前記第２画像を生成することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項５に記載の通信システムは、請求項３又は４に記載の構成において、前記第１画像の数が前記第１閾値以下である場合、前記サムネイルの全てが重ならずに表示された前記第２画像を生成することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項６に記載の画像形成装置は、ユーザを認証する認証手段と、前記認証手段により認証されたユーザに対して、記録媒体に一又は複数の第１画像を形成するサービスを提供する提供手段と、前記ユーザに対して提供された前記サービスの履歴を示す情報を外部装置に送信する送信手段と、前記第１画像から生成されたサムネイルと前記履歴を識別する識別子とを含む第２画像を、前記第１画像が形成された記録媒体とは異なる記録媒体に形成する形成手段とを有する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項７に記載のプログラムは、画像形成部を有するコンピュータに、ユーザを認証するステップと、認証されたユーザに対して、記録媒体に一又は複数の第１画像を形成するサービスを前記画像形成部が提供するステップと、前記ユーザに対して提供された前記サ

ービスの履歴を示す情報を外部装置に送信するステップと、前記第１画像から生成されたサムネイルと前記履歴を識別する識別子とを含む第２画像を出力するステップとを実行させる。